

柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1996.5.1/SPRING VOL 24



一歩進んだリサイクルを!

廃棄物問題の現状について

柳泉園組合管理者 稲葉三千男

我が国では活発な産業活動と消費に伴って、実に多くの廃棄物が発生しています。厚生省の調べでは、全国の家などから排出される一般廃棄物の量は、毎年徐々が増えており平成3年度には5,077万tとなっています。

現在、増え続ける廃棄物に処理・処分場の能力が追いつかなくなっており、早急に廃棄物を減らす対策を講じなければ深刻な環境問題を引き起こす心配されています。また、廃棄物の処理のために国民が負担する費用も年々増えており、健全な経済社会を維持するうえからも廃棄物の減量化は急がれているのです。

一方、我が国は国内資源に恵まれず、その多くを海外からの輸入に依存しています。このような我が国がこれからも安定した経済成長を保ち、豊かな生活を続けていくために、私たちは限りある資源を大

切に使うことを真剣に考えなければなりません。

このような廃棄物や資源問題への対応策として、いまリサイクル（再資源化）の推進が緊急の課題となっています。

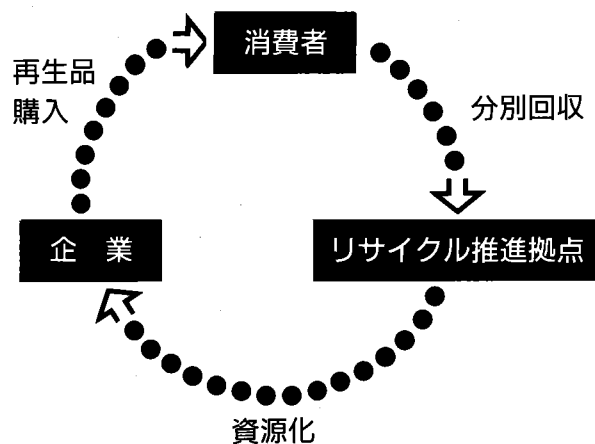
リサイクルを総合的に進め、資源の有効利用を図るためには、製品を生産し、同時に副産物を発生させる事業者、製品を購入・利用し、不用になったものを廃棄物として排出する消費者、そして廃棄物処理・再資源化を推進するための制度・体制づくりを行う行政など、あらゆる立場の人々が互いに協力しつつ、各自の役割を果たしていかなければなりません。いいかえれば、現在の使い捨て・資源消費型社会を、省資源・再資源化を織り込んだ経済社会「リサイクル社会」に再構築することが必要なのです。

今後とも、住民並びに事業者の皆様方には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

みんなで一歩進んだリサイクルを!

新しい商品の開発やライフスタイルの変化にともなって、私たちの生活はとても便利になってきましたが、同時にごみの問題が深刻になっています。そういう中で、限りある資源を有効利用して地球環境を守るためにも、リサイクルを活性化することが求められています。みんなで一歩進んだリサイクルに取り組んでみませんか。

リサイクルの輪を大切にしましょう



リサイクルを活性化させるためには、消費者、リサイクル推進拠点、企業がそれぞれ協調していくことが大切です。まず消費者はごみをきちんと分別し、行政側が分別回収して資源化させます。その資源物を各企業が再生させ、その再生品を消費者が利用することでリサイクルは成り立っていくのです。以上の3者のどれが欠けても、リサイクルは前に進んでいきません。

◆分別回収

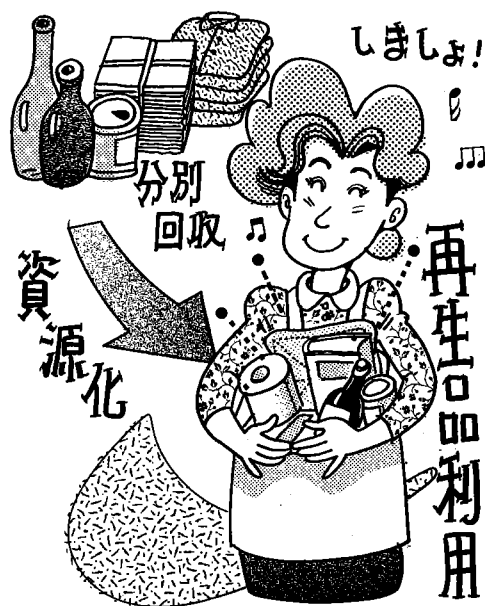
私たちは消費したものの多くをごみにしてしましますが、きちんと分別することで資源物の再利用をはかることができます。

◆資源化

平成5年10月に完成したリサイクルセンターでは、ビン類、缶類、古紙・古布類の選別を進めて、ごみの減量と資源化を進めています。

◆再生品利用

せっかく再生された資源も、消費者が利用しなければ無駄になってしまいます。可能な範囲で、再生品の利用にご協力ください。



私たちにできることが数多くあります

私たちは快適で便利な生活を求めるあまり、ややもすると使い捨ての生活スタイルに陥りやすくなっています。今のような「大量生産および大量消費」をくり返していけば、いずれ資源がなくなってしまうのは明らかです。そうならないために、私たちに何ができるでしょうか。まずは、ごみの出しすぎに注意することです。そして、ごみを出すときでも、きちんと分別して、リサイクルに役立つように心がけたいものです。

◆空きビン・缶のリサイクル

空きビンと空き缶は、上手にリサイクルしていけば、資源として再利用できるものです。中身が余っていればきちんと抜いて、ビンと缶をそれぞれ別々にまとめて、決められた日にリサイクルに出してください。

◆古紙の種類を分けましょう

新聞紙と雑誌類はそれぞれ別々にひもで十字にしぼり、ボール紙・箱・ダンボールは、平たく伸ばしてからまとめます。ただし、化学的な合成紙やビニールがついた紙などは混ぜないでください。

◆古着を眠らせないポイント

タンスに眠っている服などは、友人に着てもらうのが一番有効なリサイクルになります。あるいは、リフォームして他の衣類に変身させたり、フリーマーケットやガレージセールに出してみてもいいかもしれません。

◆ごみを減らしましょう

日々の生活の中で、大量にごみを出さないスタイルをつくってください。使い捨て商品ができるだけ買わないとか、まだ使えるものは修理してとことん利用するとか。ちょっとした工夫が大きく実を結びます。



みんなで一歩進んだリサイクルを!

RYUSENEN
NEWS

買う前にちょっと待ってください

リサイクルを推進しようとするれば、現在の便利さを多少は我慢しなければならぬこともあります。手間と経費がかかることもあるでしょう。しかし、深刻化するごみの問題を良い方向にもっていくためには、私たち一人ひとりがリサイクルに対する明確な意識をもつことが大切なのです。

◆買いすぎていませんか

まずは計画的に買い物をするのが大切です。安いからといって買いすぎてしまったら、結局は冷蔵庫の中で腐らせることになりかねません。また、料理を多めに作りすぎず、家族構成に合った量を調節してください。

◆過剰包装に慣れていませんか

確かに過剰包装は見た目がきれいです。しかし、それは資源を必要以上に使いすぎることに繋がります。肝心なのは中身であり、包装は簡素でも差し支えないのではないでしょうか。商品を購入しても、過剰包装を断る習慣を身につけましょう。

◆再生できないものを買っていませんか

再生品を生活の中で多く取り入れてください。再生品としてよく知られているのはトイレットペーパーやノート類。こうしたものは、できるだけ再生品を利用するようにしてください。また、ビールのビンも従来から再生品の優等生と言われてきました。ビールは缶よりビンのほうをお勧めします。



リサイクルの正しい知識をもちましょう

〈リサイクルミニ辞典〉

リサイクルのことをより広く知ろうとしても、なじみのない言葉が出てきます。そこで、最近リサイクルでよく使われる言葉の意味をあらためて説明しましょう。



◆デポジット

空き缶や空きビンの飲料商品を売るとき、一定の預かり金を上乗せする方式のこと。空いた容器を返せば、預かり金が返却されます。

◆コンポスト

地中にいるバクテリアの働きを生かして、生ごみを有機肥料にしたものです。数多くのコンポスト容器も市販されています。

◆ワンウェイ・ビン

一回だけの使用を前提につくられているビンのこと。ジュース類のビンにこのタイプがあります。

◆リターナル・ビン

何回もくり返し使用されるビンのことで、ワンウェイ・ビンとよく比較されます。代表的なものに、ビールのビンがあります。

◆ソーラーシステム

太陽熱を利用してエネルギーをつくり出すシステムのこと。温水器が一番よく知られていますし、ソーラーシステムを利用した車も開発されています。

◆エコマーク

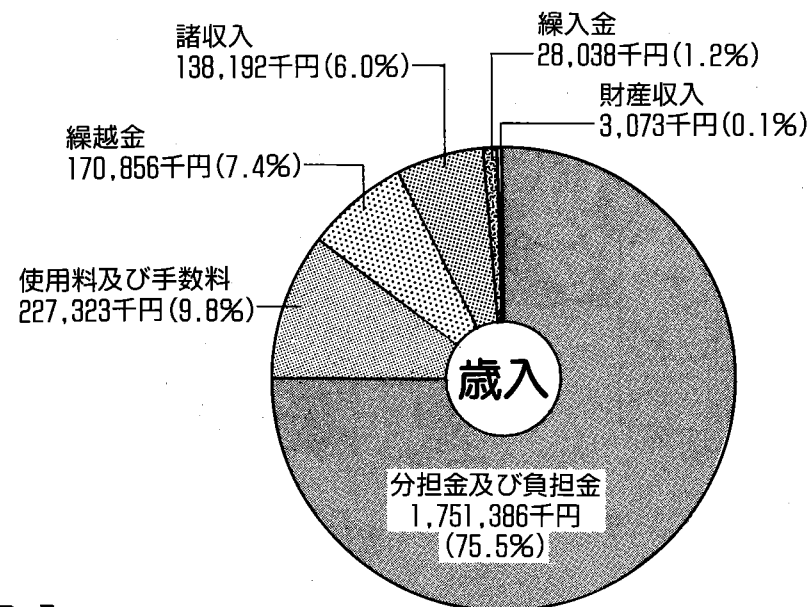
環境を汚さず使える商品や、捨てても環境を汚しにくい商品として認定されたものについているマークです。



平成6年度決算より

平成6年度の柳泉園組合一般会計歳入歳出決算が、平成7年12月26日に開かれた組合議会第4回定例会において認定されました。

これによると、歳入が23億1,886万8千円(前年度比33.0%減)、歳出が21億6,689万3千円(前年度比34.1%減)となりました。



【歳入】平成6年度歳入内訳

歳入(収入)総額23億1,886万8千円は、前年度34億6,037万9千円と比較して、11億4,151万1千円(33.0%)の減となりました。内訳は次のとおりです。

平成8年度の予算については、次号でお知らせいたします。

●分担金及び負担金

柳泉園組合を構成する四市が負担する負担金として17億5,138万6千円。前年度19億8,873万7千円と比較して、2億3,735万1千円(11.9%)の減です。

●使用料及び手数料

温水プール施設をはじめとする体育施設関係の使用料と、ごみ処理手数料が2億2,732万3千円。前年度2億1,773万7千円と比較して、958万6千円(4.4%)の増です。

●財産収入

職員の退職手当に充てるため、特定の事業を行うための基金に対する預金利子307万3千円。前年度391万2千円と比較して、83万9千円(21.4%)の減です。

●繰入金

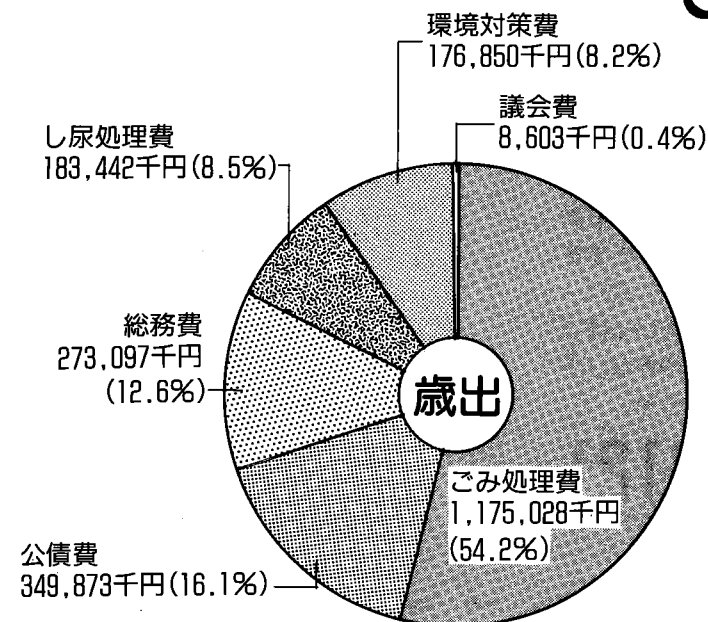
職員退職給与基金からの繰入金として2,803万8千円。前年度1億1,401万4千円と比較して、8,597万6千円(75.4%)の減です。

●繰越金

前年度からの繰越金1億7,085万6千円。前年度6,186万7千円と比較して、1億898万9千円(176.2%)の増です。

●諸収入

歳計現金の運用利子、その他の収入が1億3,819万2千円。前年度1億519万5千円と比較して、3,299万7千円(31.4%)の増です。



【歳出】平成6年度歳出内訳

歳出(支出)総額21億6,689万3千円は、前年度32億8,952万3千円と比較して、11億2,263万円(34.1%)の減となりました。主な使い道は次のとおりです。

●議会費

組合議会の運営経費に860万3千円。前年度844万5千円と比較して、15万8千円(1.9%)の増です。

●総務費

組合の共通する事務に要した経費に2億7,309万7千円。前年度4億7,371万4千円と比較して、2億61万7千円(42.3%)の減です。

これは主に人件費(退職金)等が減りました。

●ごみ処理費

ごみ処理施設の運転、定期点検整備に関する経費に11億7,502万8千円。前年度20億9,026万円と比較して、9億1,523万2千円

(43.8%)の減です。

これは主に建設工事費(リサイクルセンター建設工事)等が減りました。

●し尿処理費

し尿処理施設の運転、定期点検整備に関する経費に1億8,344万2千円。前年度1億8,506万2千円と比較して、162万円(0.9%)の減です。

これは主に維持補修費等が減りました。

●環境対策費

野球場、テニスコート及び温水プール関係の維持管理の経費やごみ及びし尿処理施設に関する分析業務などの経費に1億7,685万円。前年度1億6,632万

■ごみ処理単価
直接費 10,491円/t
総経費 16,649円/t

■し尿処理単価
直接費 10,327円/kl
総経費 15,431円/kl

5千円と比較して、1,052万5千円(6.3%)の増です。

これは主に維持補修費等が増えました。

●公債費

組合費(借入金)の償還元金は、2億2,750万3千円。前年度2億3,243万円と比較して、492万7千円(2.1%)の減。償還利子は、1億2,237万円。前年度1億3,328万7千円と比較して、1,091万7千円(8.2%)の減です。なお、平成6年度末現在の未償還元金は、20億2,614万2千円となっています。

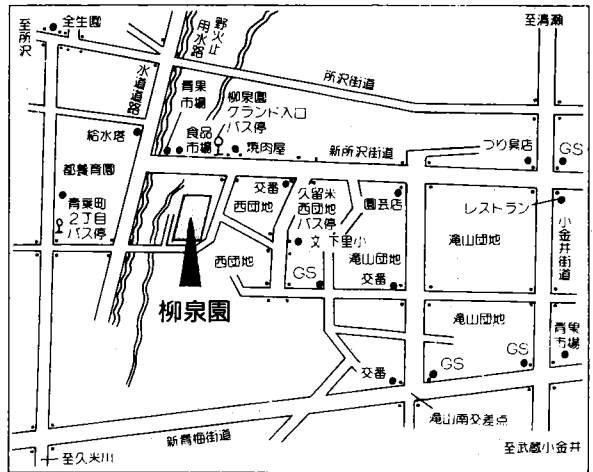
エンジョイスポーツ
enjoy sports

体育施設

柳泉園の体育施設は、四市にお住まい、お勤めの方なら一本でどなたでも利用できます。野球場、テニスコート、温水プール、スポーツサウナ、トレーニング室など魅力いっぱいのスポーツ施設があります。さわやかなリフレッシュ・タイムを、柳泉園でどうぞ。

☎0424-73-3121

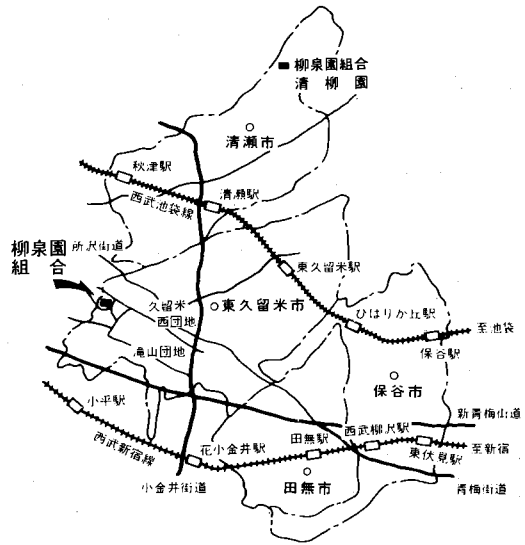
へ申し込んで下さい。



Message
組合からのお願い

- ①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみ処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに10,000円以上かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用等を加えると1トン処理するのに16,000円以上かかってしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。
- ②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと施設を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にも費用がかかります。
- ③スプレー缶・簡易ガスボンベ等は、内容物を十分出し切ったうえ、穴をあけてから不燃ごみに出してください。なお穴をあける際には、屋外など火気等危険のない場所で行い、顔など身体にかからないように注意して下さい。また、関係四市では有害ごみの分別回収をステーション収集方式、あるいは電気店等の拠点収集方式で市民の皆様をお願いしています。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。



管内人口等	(平成8年3月1日)
世帯数	140,996世帯 (前年比2,046世帯増)
人口	355,462人 (前年比1,037人増)